

2025 年度

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院

看護師の特定行為研修

外部生受講者募集要項

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院

特定行為研修管理委員会

1. 特定行為研修の教育目的

急性期医療から在宅医療まであらゆる領域でのチーム医療のキーパーソンとなり、医療安全に配慮でき、かつ、高度な臨床実践能力を有する看護師を育成する。

教育目標

- 1) 多様な臨床場面において、重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントできる基本的能力を養う。
- 2) 多様な臨床場面において必要な治療を理解しケアを導くための基本的能力を養う。
- 3) 多様な臨床場面において患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践できる能力を養う。
- 4) 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を養う。
- 5) 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を養う。

2. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たすこと。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 修了後、選択した区分別科目を履修し、実技試験に合格すること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出する。

3. 定員

定員：外部生2名

4. 研修期間と募集時期

- 1) 研修期間：1年(2025年4月1日～2026年3月31日)

共通科目を修了後に区分別科目の受講を開始する。

なお、在籍期間は、別紙『履修要項』に定める期間とする。

- 2) 募集時期

| | |
|----------|--|
| 応募書類受付期間 | 2025年1月6日(月)～2025年1月24日(金) 下記8. 応募方法をご参照ください。 |
| 面接審査日程 | 2025年1～2月頃 日程は個別調整します。 |
| 合否通知 | 面接審査後7日以内に合否通知書を発送します。 |
| 受講手続き | 合格者は2025年2月28日(金)までに、 受講料を指定の振込口座へ納金してください。 |

5. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ『共通科目』と特定行為区分ごとに学ぶ『区分別科目』に分かれており、講義、演習または実習によって行われる。実習は自施設で各区分5症例修了すること。

- 1) 共通科目(必修科目): 特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目
(研修期間:6か月)

【共通科目 250 時間】

| 科目 | 研修方法 | 評価方法 |
|-----------------------|----------------------|--------------------|
| 臨床病理生理学 30 時間 | 講義、演習 | 修了試験 |
| 臨床推論 45 時間 | 講義、演習、 実習(医療面接) | 修了試験、 各種実習の観察評価 |
| フィジカルアセスメント 45 時間 | 講義、演習、 実習(身体診察手技) | 修了試験、 各種実習の観察評価 |
| 臨床薬理学 45 時間 | 講義、演習 | 修了試験 |
| 疾病・臨床病態概論 40 時間 | 講義、演習 | 修了試験 |
| 医療安全学/特定行為実践 45 時間 | 講義、演習、実習 | 修了試験、 各種実習の観察評価 |

*共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。その後、科目修了試験に合格する。

2) 区分別科目(必修科目)

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:6 か月)

【区分別科目】

| 科目 | 特定行為 | 研修方法 | 評価方法 |
|--------------------|------------------------------|--------------|-------------------------------------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察評価 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察評価 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | | |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | | |
| | 人工呼吸器からの離脱 | | |
| 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 | 気管カニューレの交換 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 |

| | | | |
|---|---|--------------|---|
| | | | (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| 循環器関連 | 一時的ペースメーカーの操作及び 管理 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 一時的ペースメーカーリードの抜去 | | |
| | 経皮的心肺補助装置の操作及び 管理 | | |
| | 大動脈内バルーンパンピングから の離脱を行うときの補助の頻度 の調整 | | |
| 栄養に係るカテー テル管理(中心静脈カ テーテル管理)関連 | 中心静脈カテーテルの抜去 | 講義、実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 栄養に係るカテー テル管理(末梢留置型 中心静脈注射用カ テーテル管理)関連 | 末梢留置型中心静脈注射用カ テーテルの挿入 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| 創傷管理関連 | 褥瘡又は慢性創傷の治療におけ る血流のない壊死組織の除去 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| | 創傷に対する陰圧閉鎖療法 | | |
| 創部ドレイン管理関 連 | 創部ドレイン抜去 | 講義、実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 動脈血液ガス分析関 連 | 直接動脈穿刺法による採血 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 | | |
| 透析管理関連 | 急性血液浄化療法における血液 透析器又は血液透析濾過器の操 作及び管理 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 栄養及び水分管理に 係る薬剤投与関連 | 持続点滴中の高カロリー輸液の 投与量の調整 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 脱水症状に対する輸液による補 正 | | |
| 感染に係る薬剤投与 | 感染徴候がある者に対する薬剤 | 講義、演習、 | 修了試験 |

| | | | |
|-----------------------|-----------------------------------|--------------|-----------------------|
| 関連 | の臨時投与 | 実習 | 各種実習の観察 評価 |
| 血糖コントロールに係 る薬剤投与関連 | インスリンの投与量の調整 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 術後疼痛管理関連 | 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤 の投与及び投与量の調整 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 循環動態に係る薬剤 投与関連 | 持続点滴中のカテコラミンの投与 量の調整 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 持続点滴中のナトリウム、カリウム 又はクロールの投与量の調整 | | |
| | 持続点滴中の降圧剤の投与量 の調整 | | |
| | 持続点滴中の糖質輸液又は電解 質輸液の投与量の調整 | | |
| | 持続点滴中の利尿剤の投与量 の調整 | | |
| 精神及び神経症状に 係る薬剤投与関連 | 抗けいれん剤の臨時の投与 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 抗精神病薬の臨時の投与 | | |
| | 抗不安薬の臨時の投与 | | |

*区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。

実習（患者に対する実技）は関連する講義・演習（ペーパーシミュレーション）・手技練習（模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習）を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実技試験（OSCE）のある科目に関しては、実習（患者に対する実技）の前に実技試験（OSCE）に合格する必要がある。その後、修了試験に合格する。

【領域別パッケージ科目】

救急領域パッケージ

| 科目 | 特定行為 | 研修方法 | 評価方法 |
|----------------------|--------------------------------|--------|---|
| 呼吸器（気道確保に係 るもの）関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻 用気管チューブの位置の調整 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 （OSCE） 各種実習の観察 評価 |
| 呼吸器（人工呼吸療法 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 講義、演習、 | 修了試験 |

| | | | |
|-------------------|------------------------------|--------------|---|
| に係るもの) 関連 | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 実習 | 各種実習の観察 評価 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | | |
| | 人工呼吸器からの離脱 | | |
| 動脈血液ガス分析関連 | 直接動脈穿刺法による採血 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 | | |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 脱水症状に対する輸液による補正 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | 抗けいれん剤の臨時的投与 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |

集中治療領域パッケージ+α

| 科目 | 特定行為 | 研修方法 | 評価方法 |
|------------------------------|------------------------------|--------------|---|
| 呼吸器(気道確保に係るもの) 関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連 | 人工呼吸器からの離脱 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | | |
| | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 | | |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | | |
| 循環器関連 | 一時的ペースメーカーの操作及び管理 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連 | 中心静脈カテーテルの抜去 | 講義、実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 直接動脈穿刺法による採血 | 講義、実習 | 修了試験 |

| | | | |
|-------------------|---|--------------|---------------------------------|
| | 橈骨動脈ラインの確保 | | 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| 循環動態に係る薬剤投 与関連 | 持続点滴中のカテコラミンの投 与量の調整 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 持続点滴中のナトリウム、カリウ ム又はクロールの投与量の調 整 | | |
| | 持続点滴中の降圧剤の投与量 の調整 | | |
| | 持続点滴中の糖質輸液又は電 解質輸液の投与量の調整 | | |
| | 持続点滴中の利尿剤の投与量 の調整 | | |
| 透析管理関連 | 急性血液浄化療法における血 液透析器又は血液透析濾過器 の操作及び管理 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |

在宅・慢性領域パッケージ+α

| 科目 | 特定行為 | 研修方法 | 評価方法 |
|------------------------|---|--------------|---|
| 呼吸器（長期呼吸療法 に係るもの）関連 | 気管カニューレの交換 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| ろう孔管理関連 | 胃ろうカテーテル若しくは腸ろう カテーテル又は胃ろうボタンの 交換 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| 創傷管理関連 | 褥瘡又は慢性創傷の治療にお ける 血流のない壊死組織の除去 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| 栄養及び水分管理に係 る薬剤投与関連 | 脱水症状に対する輸液による 補正 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 持続点滴中の高カロリー輸液 の投与量の調整 | | |

外科基本領域パッケージ

| 科目 | 特定行為 | 研修方法 | 評価方法 |
|-----------------------------|-----------------------------|----------|---------------------------------|
| 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 | 中心静脈カテーテルの抜去 | 講義、実習 | 修了試験 各種実習の観察評価 |
| 創傷管理関連 | 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験（OSCE） 各種実習の観察評価 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 直接動脈穿刺法による採血 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験（OSCE） 各種実習の観察評価 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 脱水症状に対する輸液による補正 | 講義、演習、実習 | 修了試験 各種実習の観察評価 |
| 感染に係る薬剤投与関連 | 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与 | 講義、演習、実習 | 修了試験 各種実習の観察評価 |
| 術後疼痛管理関連 | 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 | 講義、演習、実習 | 修了試験 各種実習の観察評価 |
| 創部ドレーン管理関連 | 創部ドレーンの抜去 | 講義、演習、実習 | 修了試験 各種実習の観察評価 |

術中麻酔管理領域パッケージ

| 科目 | 特定行為 | 研修方法 | 評価方法 |
|--------------------|----------------------------|----------|---------------------------------|
| 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験（OSCE） 各種実習の観察評価 |
| 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 講義、演習、実習 | 修了試験 各種実習の観察評価 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | | |
| | 人工呼吸がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | | |
| | 人工呼吸器からの離脱 | | |

| | | | |
|------------------------|-----------------------------------|--------------|---|
| 動脈血液ガス分析関連 | 直接動脈穿刺法による採血 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 | | |
| 栄養および水分管理に係る 薬剤投与関連 | 脱水症状に対する輸液の補正 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 術後疼痛管理関連 | 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の 投与及び投与量の調整 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| 循環動態に係る薬剤投 与関連 | 持続点滴中のカテコラミンの 投与量の調整 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 持続点滴中のナトリウム、カリウム 又はクロールの投与量の調整 | | |
| | 持続点滴中の降圧剤の投与量 の調整 | | |
| | 持続点滴中の糖質輸液または 電解質輸液の投与量の調整 | | |
| | 持続点滴中の利尿剤の投与量 の調整 | | |

心臓センターパッケージ

| 科目 | 特定行為 | 研修方法 | 評価方法 |
|------------------------|--------------------------------------|--------------|---|
| 呼吸器(人工呼吸療法 に係るもの)関連 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 講義、演習、 実習 | 修了試験 各種実習の観察 評価 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | | |
| | 人工呼吸管理がなされている 者に 対する鎮静薬の投与量の調整 | | |
| | 人工呼吸器からの離脱 | | |
| 動脈血液ガス分析関 連 | 直接動脈穿刺法による採血 | 講義、実習 | 修了試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察 評価 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 | | |

6. 受講資格

次の①から⑤のいずれの要件も満たす看護師であること。

- ① 日本国内における看護師免許を有すること
- ② 看護師の免許取得後、通算5年以上の実務経験を有すること

- ③ 日本看護協会、または自施設における看護師賠償責任保険等の賠償責任保険に加入していること
- ④ 所属施設の病院長(施設長)及び看護部長の推薦を有すること
- ⑤ 日本看護協会に加入していること
- ⑥ 自施設で各区分5症例修了できる見込みであること
※症例が不足する場合は、宇治徳洲会病院で実習できる場合がある

7. 応募方法

【提出書類】

以下の書類を応募受付期間内に封筒に入れ、朱書で「2025年度特定行為研修応募書類在中」と記入して以下提出書類受付期間内に「郵便書留」で送付するか、病院窓口に提出すること。

【提出書類受付期間】

2025年1月6日(月)～2025年1月24日(金)

- 1) 受講願書…様式1
- 2) 履歴書(写真付き)…様式2
- 3) 志願理由書…様式3
- 4) 病院長(施設長)及び看護部長(看護部責任者)の推薦書…様式4
- 5) 履修免除願(認定看護師や既に特定行為研修を修了した者のみ)…様式5、修了証
※提出書類の返却は対応しません。

【送付先】

〒611-0041 京都府宇治市槇島町石橋145

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 特定行為研修管理委員会 事務局

※必ず「郵便書留」で送付するか、直接病院窓口に持参してください。

問合せ窓口:特定行為研修委員会事務局

電話:0774-20-1111 (代表) 担当:萩森

8. 選考方法

1) 書類審査

2) 面接審査

宇治徳洲会病院内で個別面接を行います。

応募書類確認後、面接開始時間・場所を別途案内します。

※合否結果については、面接審査後7日以内にEメールでお知らせします。

電話やFAXでの問い合わせは対応しません。

9. 受講手続きと納付金について

1) 受講手続き等、詳細については審査通過後に別途案内します。

2) 納付金

以下受講料1)、2)の合計金額を振込期限までに一括で指定口座へ振り込むこと。

なお、納付金(消費税込)は本院から送付する納付書に基づき、振込みとなります。

【振込期限】

2025年2月28日(金)まで

受講料

1) 共通科目

内部生 300,000 円

外部生 400,000 円

2) 区分別科目

【区分別科目】

| | |
|-------------------------------------|--------------------------------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 内部生 30,000 円 外部生 40,000 円 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 内部生 90,000 円 外部生 120,000 円 |
| 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 | 内部生 27,000 円 外部生 36,000 円 |
| 循環器関連 | 内部生 63,000 円 外部生 84,000 円 |
| 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連 | 内部生 24,000 円 外部生 32,000 円 |
| 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 | 内部生 27,000 円 外部生 36,000 円 |
| 創傷管理関連 | 内部生 105,000 円 外部生 140,000 円 |
| 創部ドレーン管理関連 | 内部生 18,000 円 外部生 24,000 円 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 内部生 42,000 円 外部生 56,000 円 |
| 透析管理関連 | 内部生 36,000 円 外部生 48,000 円 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 内部生 51,000 円 外部生 68,000 円 |
| 感染に係る薬剤投与関連 | 内部生 90,000 円 外部生 120,000 円 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 内部生 51,000 円 外部生 68,000 円 |
| 術後疼痛管理関連 | 内部生 27,000 円 外部生 36,000 円 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 内部生 87,000 円 外部生 116,000 円 |
| 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | 内部生 99,000 円 外部生 132,000 円 |

【領域別科目】

| | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 救急領域パッケージ | 内部生 261,000 円 外部生 348,000 円 |
| 集中治療領域パッケージ+ α | 内部生 324,000 円 外部生 432,000 円 |
| 在宅・慢性領域パッケージ+ α | 内部生 222,000 円 外部生 296,000 円 |
| 外科系基本領域パッケージ | 内部生 330,000 円 外部生 440,000 円 |
| 術中麻酔管理領域パッケージ+ α | 内部生 225,000 円 外部生 300,000 円 |
| 心臓センターパッケージ | 内部生 132,000 円 外部生 176,000 円 |

※収めた受講料は原則として返還しません。

※研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります。

●個人情報の取り扱いについて

宇治徳洲会病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

●研修の年間予定

2025年4月上旬 開講式・オリエンテーション

2025年4月中旬 共通科目受講開始

2025年9月末 共通科目修了判定

2025年10月1日 区分別科目受講開始

2026年3月上旬 区分別科目修了判定・修了式

●交通アクセス:別紙参照

近鉄京都線 小倉駅 送迎バス 10分、徒歩 20分

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院

看護師特定行為研修委員会 事務局

〒611-0041

京都府宇治市槇島町石橋 145

TEL.0774-20-1111(代表) 担当:萩森